

札幌市のアイヌ施策に対する意見概要

アイヌ民族との意見交換会や札幌市アイヌ施策推進委員会などで寄せられた意見。「札幌市アイヌ施策推進計画」の体系ごとに記載

1 施策目標1：市民理解の促進

推進施策	該当施策	意見内容
伝統文化の啓発活動の推進	アイヌ語の案内表記の実施	札幌にはアイヌ語由来の地名が多数あるため、現在の地名にアイヌ語を併記し、その意味を記載した掲示板等を各区役所に設置してほしい。地名という身近なものから市民の興味を湧かせてアイヌ民族への理解のきっかけになればよい。
		地名とその由来となっているアイヌ語が元々どのような意味であったかが分かる展示物を交流センターに設置し、身近なものからアイヌ文化に興味を持ってもらう工夫が必要である。
	アイヌアート・モニュメントの設置	タペストリー作品だけでなく、木彫作品のアイヌアート・モニュメントを展示してほしい。活躍の場を設ければ木彫作家も増える。
教育等による市民理解の促進	学校におけるアイヌ文化紹介	アイヌ民族の歴史を学ぶことは差別問題を考える上で重要である。歴史の理解があつて初めて人権への配慮がなされるため、小学校のカリキュラムにアイヌ民族の歴史を学ぶ時間を入れてほしい。また、アイヌ民族の歴史が大切なものという認識が芽生えるきっかけとして大学入試や市の採用試験に入れてほしい。
		副読本の配布や交流センターでの体験学習では記憶に残す学習としては弱い。アイヌ民族を迎えて講話してもらうなど、子どもたちの記憶に残る学習をしてほしい。

推進施策	該当施策	意見内容
		アイヌ民族の環境保全・自然との共生の精神をもっと学校教育の中で教えてほしい。
		学校教育の中でアイヌ文化に触れる機会を増やすことは大切である。小中高生全員が交流センターを見学してもらえるようにカリキュラムを変更してほしい。
		旭川や平取のように、子どもの頃からアイヌ語の勉強ができる環境を整備してほしい。
	該当施策なし	早いうちからの民族教育が大切であるため、就学前の子どもでも理解できるような紙芝居などのツールを作ってほしい。

2 施策目標 2 : 伝統文化の保存・継承・振興

推進施策	該当施策	意見内容
伝統文化活動の推進	札幌市アイヌ文化交流センターの運営	自然の里にはアイヌ民族にとって大切な樹木が植えられており、自然植物を学ぶために適した施設である。見学ルートにもっとアイヌ民族のことを学べるような工夫を検討してほしい。
		アイヌ民族が歩んできた歴史を来館者が学ぶことができるように、交流センターで展示パネル等を設置してほしい。
		アイヌ民族がどのように生活していたかが分かるように、チセ内の展示の充実あるいはチセの建替に取り組んでほしい。
		外国人観光客の対策として、展示物の説明文の英語表記や説明員が外国人に説明できるように翻訳機やタブレット端末の導入を検討してほしい。
		外国人観光客にとってWifi環境は必須。Wifi環境の整備を行ってほしい。

推進施策	該当施策	意見内容
		<p>平取にあるチセや工芸館のような施設を交流センターに建設してほしい。</p> <p>小中高校生が対象となっている団体体験プログラムの高校生への実績がない。高校生の利用が増えるような取組をしてほしい。</p> <p>来館者で文化体験を希望する人がいるため、文化体験講師の常設配置を検討してほしい。</p> <p>交流センターの集客増加に向けて、無料送迎バス等の運行手段を検討してほしい。</p> <p>国道に設置している交流センターの看板は小さくて見えづらいため、国道からでもここに交流センターがあると分かるようなモニュメントみたいなものを設置してほしい。</p> <p>アイヌ文化を芸術に結びつける一環として、交流センターで国際芸術祭の作品を展示してほしい。作品展示を続けることでアイヌアートとしての価値観を高めていってほしい。</p>
	イオル計画策定・運営への協力	<p>現在の清田の畑は水辺空間が無く、水辺空間（湿地）を要する植物の植栽を行うことができず、また、植栽に20～30年かかるオヒョウニレ、ナラ、オニグルミの生育を進めたいため、清田の畑を継続した上で、別の土地でもイオルを実施したい。</p> <p>予算規模が白老や平取と比べてあまりにも少ないため、事業の拡大を検討してほしい。</p> <p>アイヌ民族が自由に民族的生活を体験できる場所、具体的にはマタギキャンプのようなことをできる場所を作ってほしい。</p> <p>自然豊かな定山溪にコタンをつくり、昔のような生活の中でアイヌ教育ができるような場所の整備を検討してほしい。</p> <p>子どもたちが様々な自然体験ができる場所（イメージとしてイコロの森）を作ってほしい。</p>

推進施策	該当施策	意見内容
	区民センターにおける文化体験講座等の充実	アイヌ文化活動に携わってこなかったアイヌ民族が、これまで自分たちが生きてきた経験を語るといった講座を各区民センター等で開いてほしい。
	及び民芸品展示・販売	各区役所にアイヌの展示コーナーを作り、アイヌ民族の歴史・文化等を伝えるとともに、週1回、アイヌ語教室や刺しゅう・木彫り・歌・踊りなどの体験講座を開いてほしい。
	雪まつりなどのイベントにおいてアイヌ民族の伝統文化等を紹介	オリンピック・パラリンピックのような国際大会は先住民族の文化を知ってもらう絶好の機会である。古式舞踊披露によるアイヌ文化の発信やショップ販売の検討をしてほしい。
	伝統文化の担い手育成の支援	アイヌ人材をどのように育てていくか、育った人材が活躍できるような場を用意することはできないかを考えてほしい。また、伝統者育成には長期的な時間を要するため、既存の講座に追加して新たな事業を作してほしい。
		アイヌ語人材の育成に向けて、アイヌ語講座（上級・中級・初級）を毎月10日間程度やってほしい。また、育った人材の活躍の場として、学校の英語のALT（外国語指導助手）のようにアイヌ語講師の配置ができないかを検討してほしい。
		ムックリ制作を一手に担っている鈴木氏は高齢であと1～2年で辞めたいと話していることから、ムックリ伝承者育成は急務である。ムックリの制作方法を教わるなどして、札幌でのムックリ制作の人材育成・体制づくりに着手してほしい。
	該当施策なし	アイヌ関連団体の取組に対する補助事業の中で、アイヌ民族の歴史に関する調査研究や学習を支援するようなものがあるとよい。

3 施策目標 3 : 生活関連施策の推進

推進施策	該当施策	意見内容
産業振興等の推進	民芸品展示販売スペースの設置	国内外からの観光客の増加が予想されるため、一日も早く民芸品の常設店舗を設置してほしい。設置にあたってはアイヌ民族の生活自立に繋がる安定雇用に結びつくようにしてほしい。
		札幌は北海道の中心的都市であるという視点から、札幌に設置する民芸品の常設店舗には全道からの商品を出品してほしい。
		カフェとコラボして民芸品を販売する取組は市民の興味を引くものであるため、今後の実施を検討してほしい。(H30.1 に実施したアイヌ料理試食会と同時開催した民芸品販売会を受けての意見)
産業振興等の推進	アイヌ民芸品のブランド化	アイヌ民族は自然環境を大切にするという精神を持っている。民芸品のブランド化の中でエコロジーな商品を開発してほしい。
	該当施策なし	市内在住のアイヌ民族の9割がアイヌ文化と関係しない仕事をしている。生活関連施策では、アイヌ文化関係の産業振興の事業だけでなく、アイヌ文化以外の仕事(公園・建物の清掃やお茶くみ等)をアイヌ民族に斡旋するといった施策をしてほしい。
生活環境等の整備	住宅新築資金等の貸付	住宅貸付の実績が低迷している原因は貸付制度の金利が市中金利より高いことにあるため、金利を下げしてほしい。
	生活相談員・教育相談員の配置	具体的な相談状況や、どんな問題が起きているか、問題がどれだけ解決しているかが分からない。相談体制のあり方や相談内容の情報共有に向けた検討、相談内容の分析をしてほしい。

推進施策	該当施策	意見内容
		ハローワーク札幌の就労相談員（アイヌ民族枠）にどのような相談が寄せられているかを市でも把握すべき。
	市街地に相談・交流の場を確保	アイヌ民族の活動を行うために交流センターや共同利用館では遠く不便である人も多い。各区域に生活館を造ってほしい。
	アイヌ民族の児童・生徒に対する学習支援	学習支援を単なる学習塾にとどまらず、アイヌ文化を学ぶことができる場所にしてほしい。